K-150

数理解析研究所講究録160

位相解析的方法による偏微分方程式の研究



京都大学数理解析研究所

1972年9月

位相解析的方法による偏微分方程式の研究 研究会 報告集

1972年 1月24日~1月26日

目 次

1.	一階楕円型方程式系の non-coercive 境界値向題・・・	• 1
	京大 数研 岩崎 惠	久
2.	多項式係数偏微分作用素の値域が稠密でない例について・	. 5
	広大 理 津野 義	道
3.	Martin 境界の拡散方程式への応用・・・・・・・・・	• 12
	東大理伊藤清	
4.	双曲型混合問題に対する解の解析性の伝播について・・	32
	京產大 理 辻 횢	雄
5.	双曲型混合问題のL²-well-posedness について・・・・・・	48
	秦良女子大 坂本 礼	子
6.	Schrödinger型作用素の正の固有値と一意接続定理・・	61
	東大 理 増田 久	弥
7.	Banach lattice における非線型半群とその例・・・・・	68
	東大 理 小西 芳	雄
8.	精円型作用素の固有値分布と負の固有値について・・・	79
	東大理田村英	男